

事業概略書

若年認知症の社会的支援策に関する研究事業
社会福祉法人 仁至会 （報告書A 4版1頁）

事業目的

64歳以下で発症する若年認知症は、本人だけでなく、家族への影響が大きいにもかかわらず、実態はまだ明らかでなく、支援やサービスも高齢者の認知症に比べて十分とはいえない。本人や家族が必要とする支援を探るため、インタビューにより情報を収集する。就労に関する実態を調べるため、授産所や福祉工場の現状を視察し、ジョブコーチの活動を把握する。また、若年認知症の社会活動の場作りを行うことを目的とした。さらに、家族や専門職が使える「若年認知症支援ハンドブック」を作成する。

事業概要

1. 家族の視点から見た若年認知症の課題を明らかにした。
2. 若年認知症の人の支援に対するニーズを把握した。
3. 若年認知症・家族に対するソーシャル・サポートの現状と課題を明らかにした。
5. 若年認知症の社会生活の場作りを行い、その効果を検証した。
6. 「若年認知症支援ハンドブック」の作成
7. 報告書の作成

事業結果

若年認知症の家族の視点から見た課題や、本人や家族が求める社会的・心理的支援を明らかにした。若年認知症の本人や家族に対する、医療・福祉場面でのソーシャルサポートの現状を把握し、就労に関する課題を明らかにした。

事業実施機関

認知症介護研究・研修大府センター

〒 474-0037 愛知県大府市半月町三丁目 2 9 4 番地

TEL 0562-44-5551